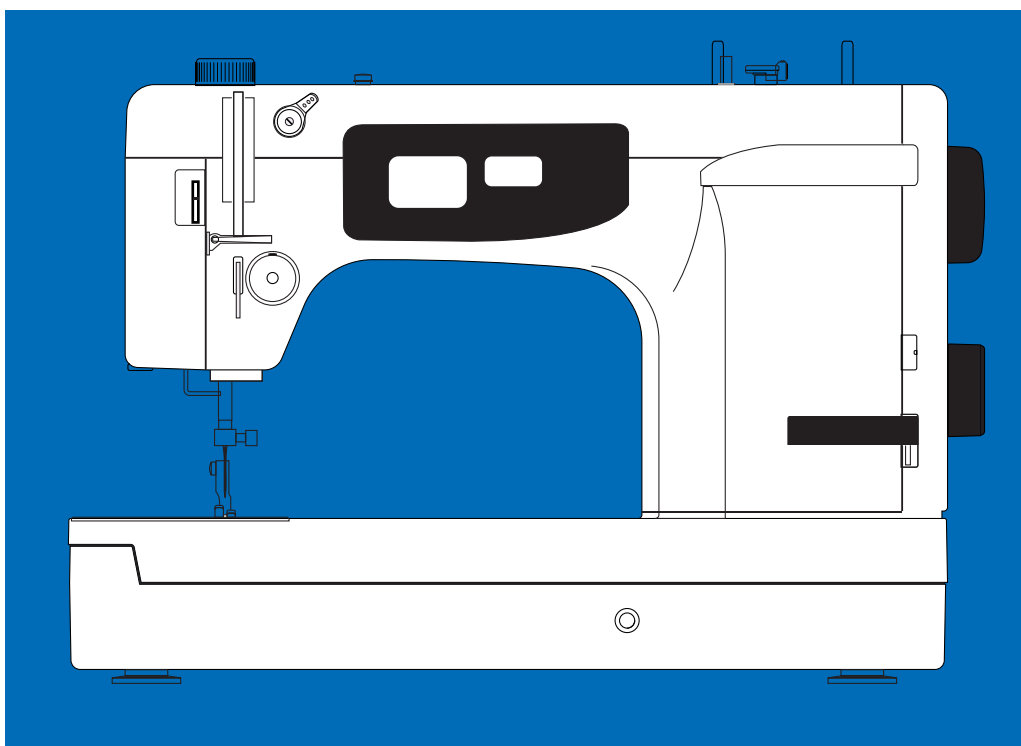


# 使用の手びき

(取扱説明書)

型式：103 DELUXE





**SINGER®**



このミシンを安全にお使いいただくため、この「使用の手びき」をご使用の前に必ずお読みください。「使用の手びき」は手元に保管し、未長くご活用ください。

このたびはシンガーミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
 このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「使用の手引き」をお読みください。  
 「使用の手引き」は、保証書と共に大切に保管してください。

## 安全にご使用いただくために

- ◆このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。
- ◆このミシンは、日本国内用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

<b>⚠ 警告 感電・火災の原因になります。</b>	
一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。	
 <b>必ずプラグを抜く</b>	以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンのそばを離れるとき</li> <li>・ミシンを使用したあと</li> <li>・ミシン使用中に停電したとき</li> </ul>
	

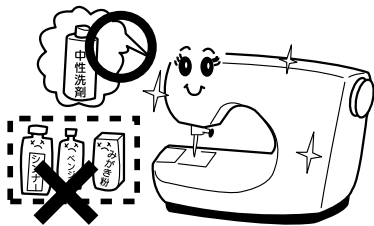
<b>⚠ 注意 感電・火災・けがの原因になります。</b>	
<p>お客様自身での分解はしないでください。</p> <p>ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。</p> <p>ぬいの途中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。</p> <p>曲がった針はご使用にならないでください。</p> <p>針および押えは、確実に固定してください。また、押えは、ぬいに合ったものをご使用ください。</p> <p>ミシン操作時は、スベリ板等カバー類を閉じてください。</p> <p>お子様をご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。</p> <p>電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。</p> <p>付属の電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。</p> <p>以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・押え、アタッチメントを交換するとき</li> <li>・上糸、下糸をセットするとき</li> </ul>	<div style="text-align: center;">  <b>必ずプラグを抜く</b> </div> <p>以下のことをするときには、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・針、針板を交換するとき</li> <li>・上糸、下糸をセットするとき</li> <li>・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください。）</li> <li>・ミシンのお手入れを行うとき</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <b>必ずプラグを抜く</b> </div> <p>ミシン・フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、電源プラグを抜き、ご購入店にて点検・修理・調整をお受けください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常に作動しないとき</li> <li>・水にぬれたとき</li> <li>・落下などにより破損したとき</li> <li>・異常な臭い、音がするとき</li> <li>・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき</li> </ul>

## ●目次

●各部のなまえ .....	2	●上糸の準備 .....	10～11
●標準付属品 .....	3	★上糸をかけ方 .....	10
★補助テーブルの取り付け .....	3	★下糸の引きあげ方 .....	11
★ひざ上げレバーの取り付け .....	3	●針の交換 .....	12
●操作方法 .....	4～6	●布に適した糸や針を選ぶ目安 ...	12
★電源のつなぎ方 .....	4	●糸調子の合わせ方 .....	13
★速さの調節 .....	4	●試しぬい .....	14～15
★糸切りボタン .....	5	●クロスガイドの使い方 .....	15
★下糸巻ボタン .....	5	●三つ巻きぬい .....	16
★ぬい目長さ調節ダイヤル .....	5	●レザー押え .....	16
★返しぬいレバー .....	5	●ファスナー付け .....	17～18
★押え上げ .....	6	●ミシンのお手入れ .....	19～20
★押え圧調節 .....	6	★送り歯とかまの掃除 .....	19
★押えの外し方・付け方 .....	6	★注油 .....	19
●下糸の準備 .....	7～9	★ランプの取りかえ .....	20
★ボビンケースとボビンの取り出し方 .....	7	●ミシンの調子が悪いときの直し方 ...	21
★糸こまのセット .....	7	修理サービス要領 .....	22
★下糸の巻き方 .....	8		
★ボビンのセット .....	9		
★ボビンケースのセット .....	9		

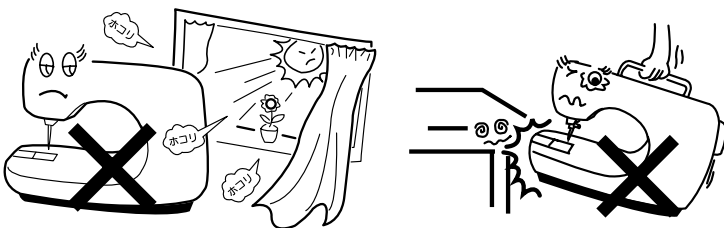
## ●お取り扱いについてのごお願い

### ご使用の前に



- ① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は、絶対に使用しないでください。
- ③ 油さしは、子供の近くには置かないようにしてください。

### いつまでもご愛用いただくために

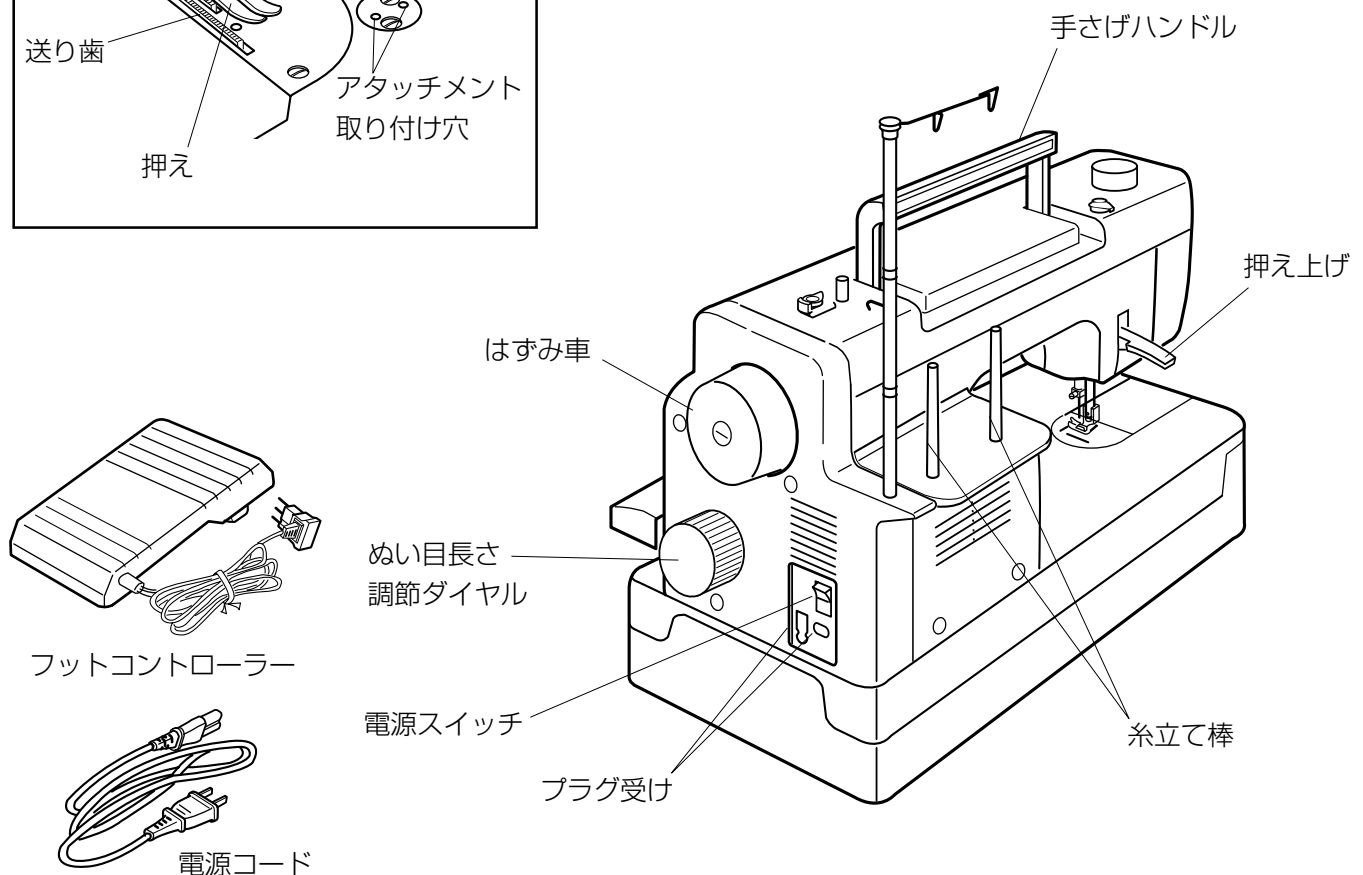
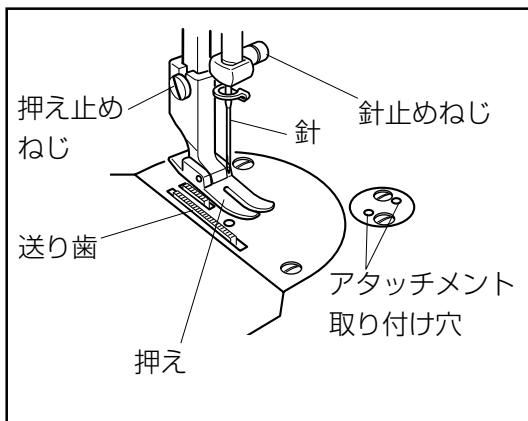
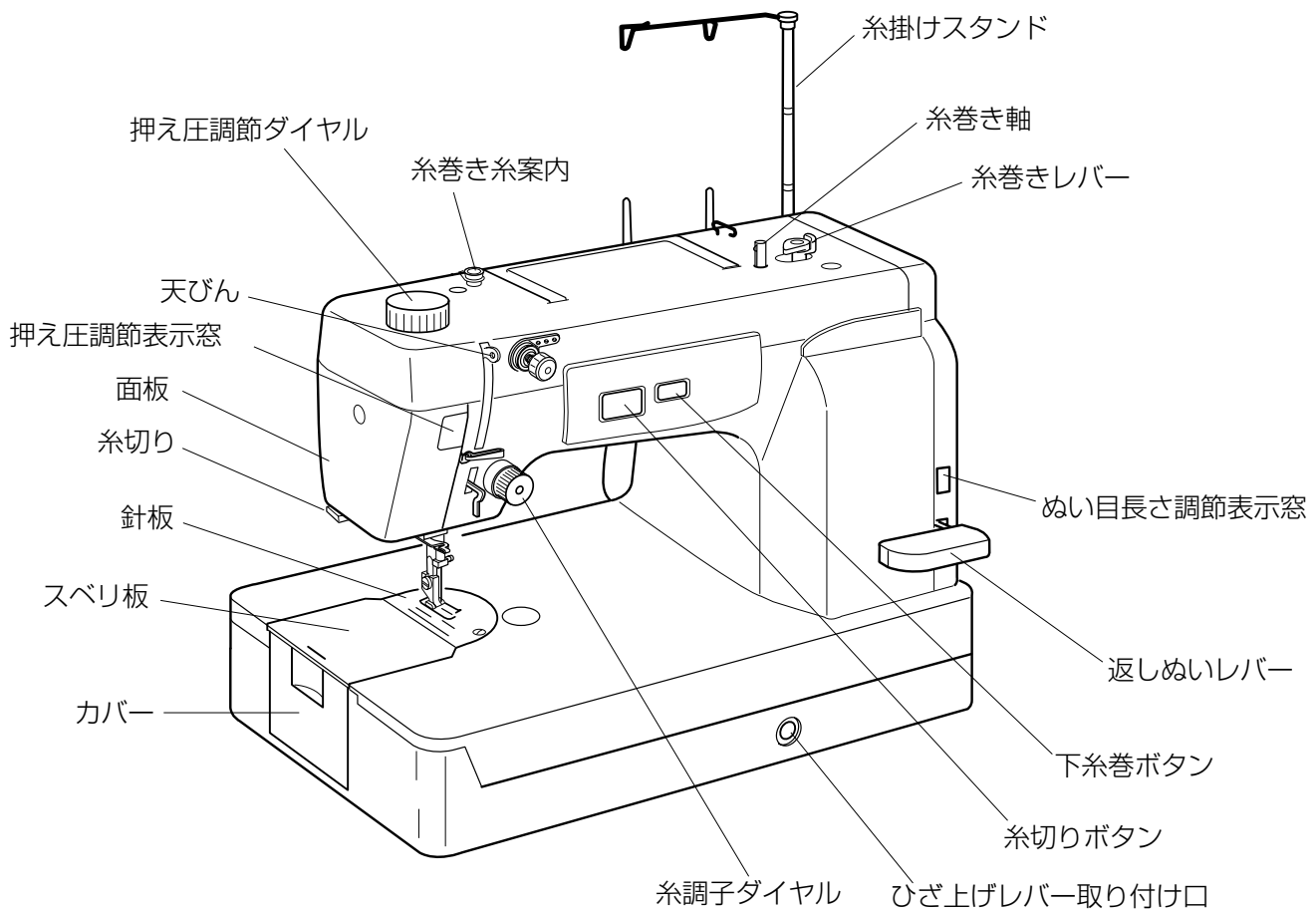


- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

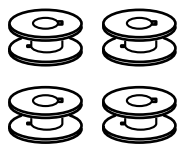
### 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときには、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(21 ページ) により点検・調整を行ってください。

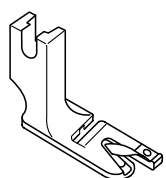
# ●各部のなまえ



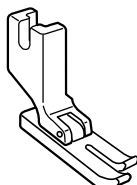
## ●標準付属品



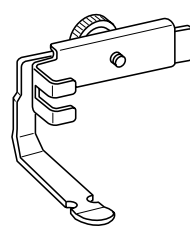
ボビン



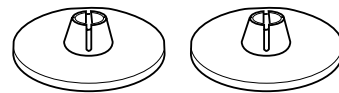
三つ巻き押え



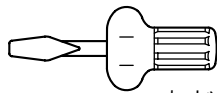
レザー押え



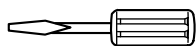
ファスナー押え



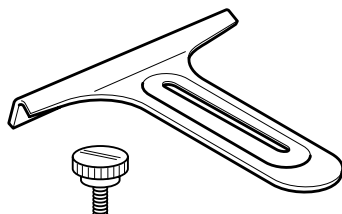
糸こま押え



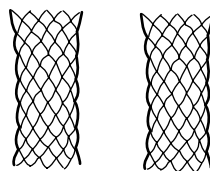
ねじまわし



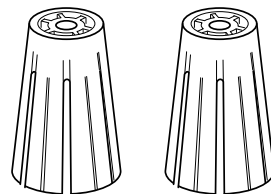
ねじまわし (小)



クロスガイド



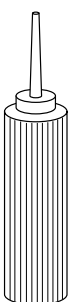
糸こまネット



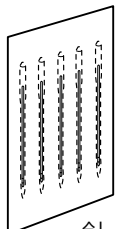
糸こまホルダー



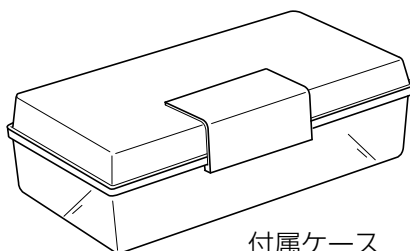
ブラシ



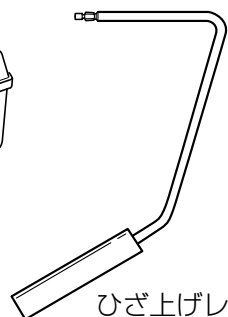
油さし



針 (DB × 1 - 14) 2本  
(DB × 1 - 11) 3本



付属ケース

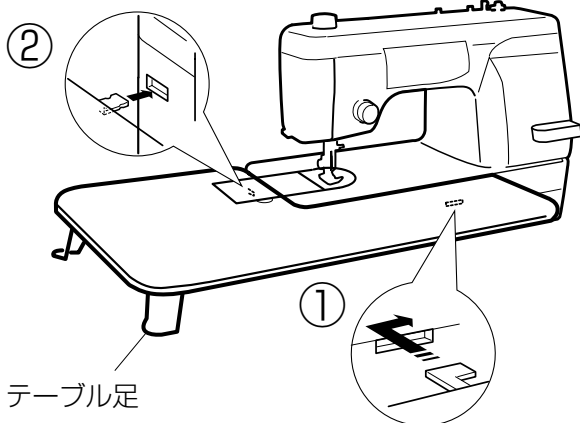


ひざ上げレバー

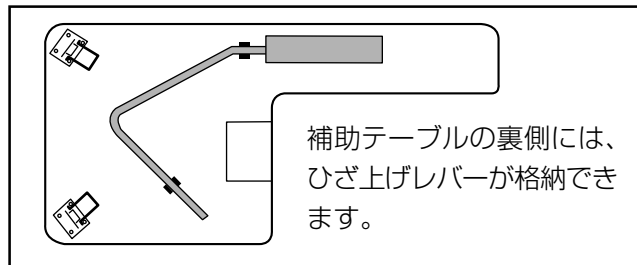


取扱説明書

## ★補助テーブルの取り付け

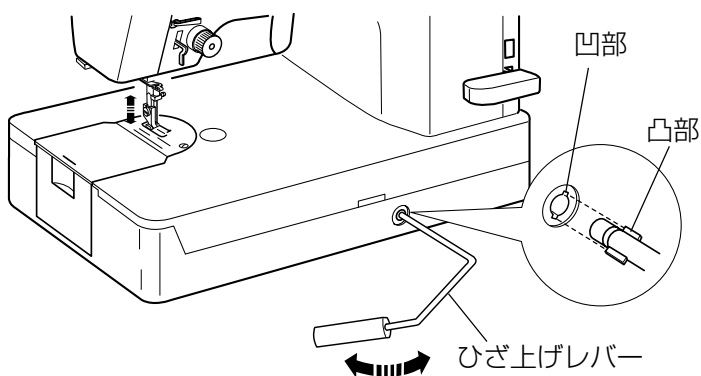


テーブル足



2個所のテーブル足を起こしてからミシンへ図のように①、②の順にセットします。

## ★ひざ上げレバーの取り付け



凹部

凸部

ひざ上げレバー

ひざ上げレバーは手を使わずに押えのあげ下げができるので、キルトなどをぬうときに使うと便利です。

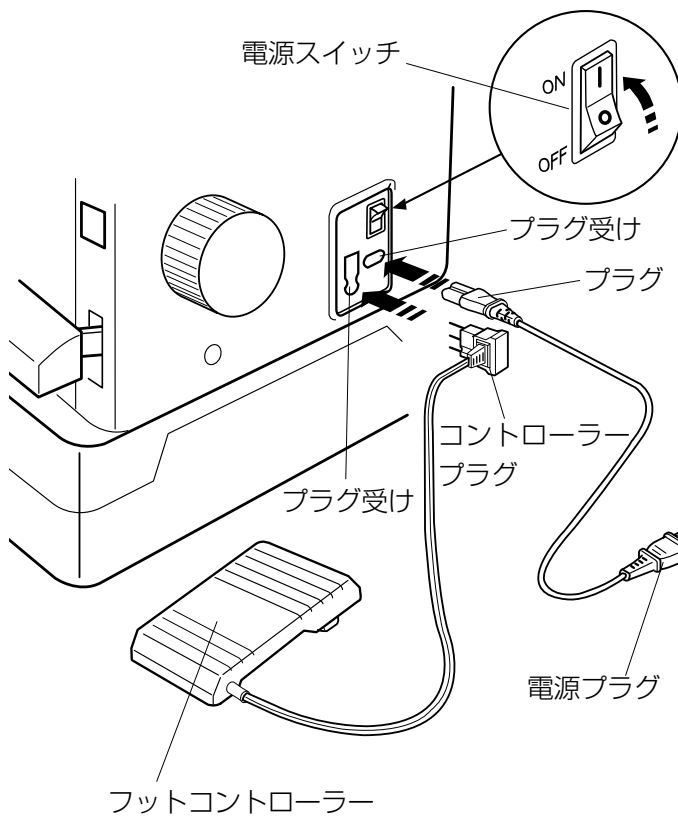
取り付けは、ひざ上げレバーの凸部を取り付け穴の凹部に合わせ、差し込みます。

ひざを使ってひざ上げレバーを右側に押すと押えが上がり、左にもどすと押えがさがります。

※ ぬい中は、ひざ上げレバーにふれないようにしてください。ぬい不良の原因になります。

## ●操作方法

### ★電源のつなぎ方



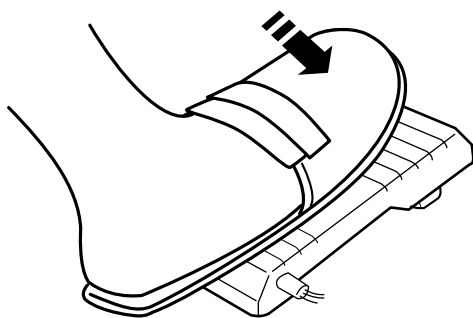
### ⚠ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
- ミシンを使わないときは、電源スイッチを「切」(OFF) にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**感電・火災の原因になります。**

- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にして、コントローラープラグをプラグ受けに差し込みます。
- ② プラグをプラグ受けに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③ 電源スイッチを「ON」(入) にします。

### ★速さの調節



フットコントローラーを踏むとミシンがスタートし、深く踏み込むほどスピードが速くなります。

深く踏む→速くなる。

浅く踏む→遅くなる。

踏み込みをはずすとミシンはストップします。

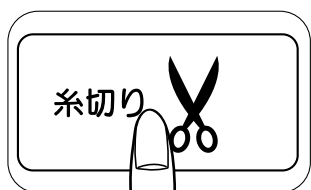
針は下位置停止になります。

糸切りボタンで糸を切り終わると、針は上位置になります。

※ フットコントローラーに糸くずや、ほこりがたまらないようにしてください。また、フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因となります。

## ★糸切りボタン

---



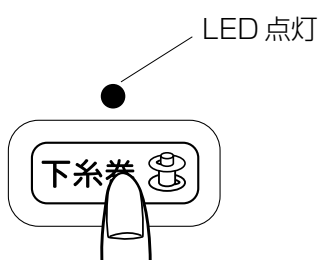
ぬい終わった後に糸切りボタンを押すと、上糸、下糸を自動的に切ります。

次ぎにぬうとき下糸を引きあげなくても続けてぬうことができます。

※ 30番より太い糸、または特殊糸を切るときには  
面板に付いている糸切りを使用してください。

## ★下糸巻ボタン

---



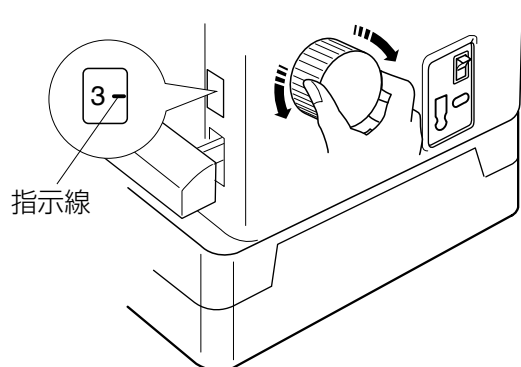
下糸巻きをするときに使います。

糸巻きレバーを糸巻き側にし、糸巻きボタンを押すと糸巻きLEDが点灯します。

巻き終わると、糸巻きレバーがもとの位置にもどり糸巻きLEDが消灯します。

## ★ぬい目長さ調節ダイヤル

---

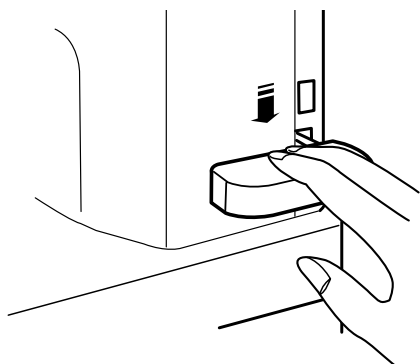


ぬい目長さ調節ダイヤルをまわして、指示線に数字を合わせ、ぬい目長さを調節します。

(調節範囲は、0～6mmです。)

## ★返しぬいレバー

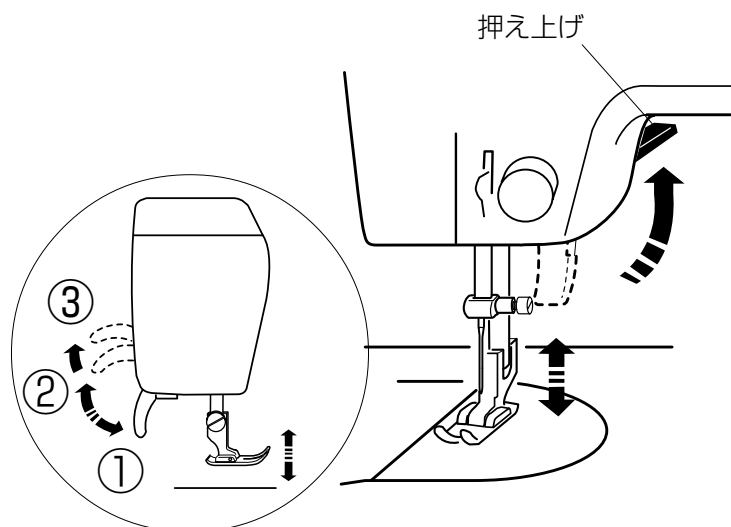
---



返しぬいレバーを押している間は返しぬいをして、返しぬいレバーをはなすと前進ぬいになります。

ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めに利用します。

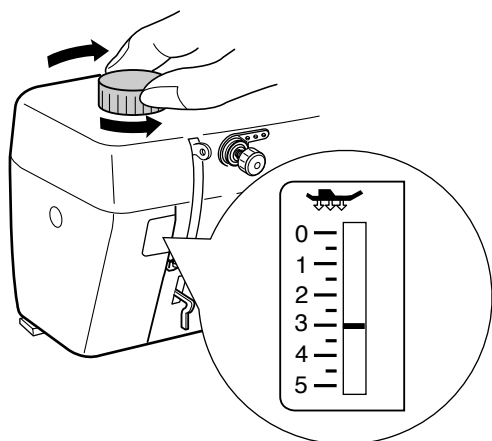
## ★押え上げ



押え上げで、押えのあげさげを行います。  
普通にあげた位置よりさらにあげることもでき、厚物の布を入れるときの補助リフトとして使用します。

- ①さげた位置 .....ぬいときは、さげておきます。
- ②普通にあげた位置 .....布の取り出しや押えの交換のときにあげます。
- ③さらにあげた位置 .....補助リフトで、厚物の布などが入れやすくなります。

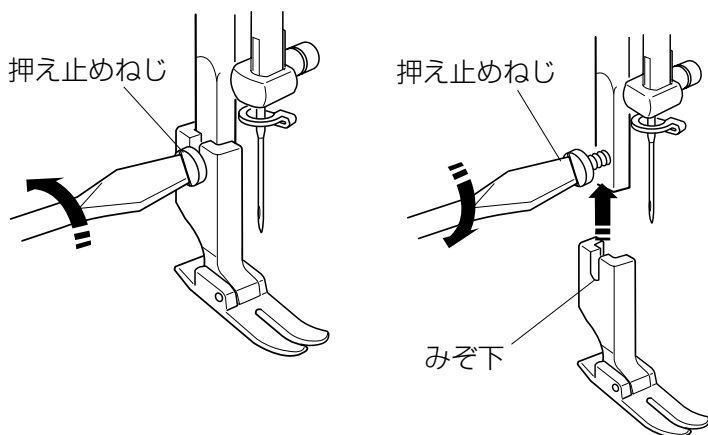
## ★押え圧調節



普通の布のときは、押え圧調節ダイヤルをまわして、指示線を「3」に合わせます。

うす手の化繊地や伸縮性の布地をぬうときには、押え圧ダイヤルをまわして押え圧をよわく（小さな数字）します。

## ★押えの外し方・付け方

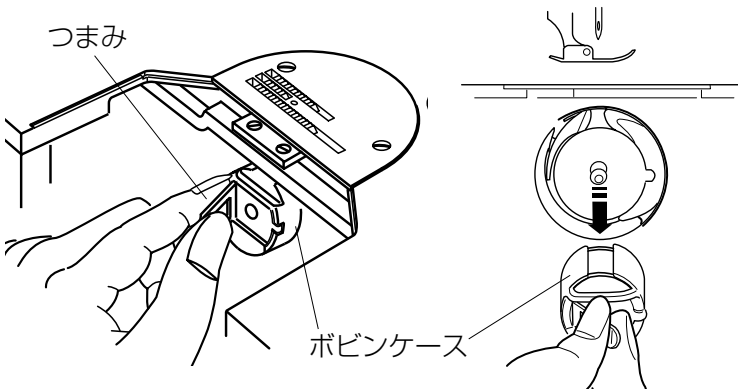
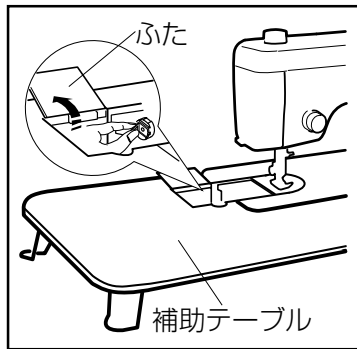
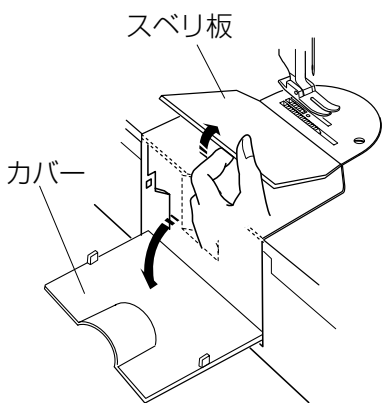


- ①押え上げと針を上にあげます。
- ②押え止めねじを左にゆるめて、押えを外します。
- ③取り付けるときは、押えのみぞ下を押え止めねじに突き当て、押え止めねじを右にまわしてしっかりしめます。



# ●下糸の準備

## ★ボビンケースとボビンの取り出し方

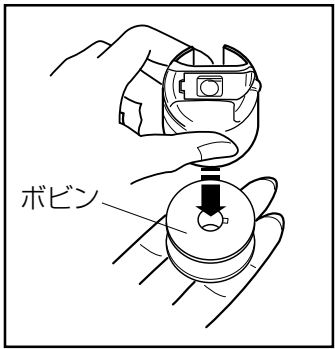


**⚠ 注意**  
電源スイッチを「切」(OFF) にしてボビンケースを取り出します。けがの原因になります。

- ① 針と押えをあげます。
- ② スベリ板を外し、カバーを開きます。
- ③ ボビンケースのつまみを持って、取り出します。

**【補助テーブルを使用しているとき】**  
補助テーブルを外さなくても、補助テーブルのふたを開けて、スベリ板を外し、カバーを開いてボビンケースを取り出すことができます。

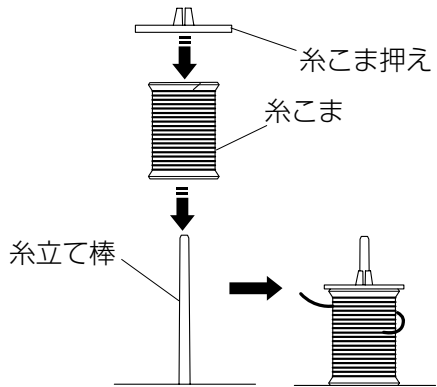
### 【ボビンの取り出し方】



ボビンはつまみをはなして、下に向けると外れます。  
※ボビンは専用ボビンを使用してください。

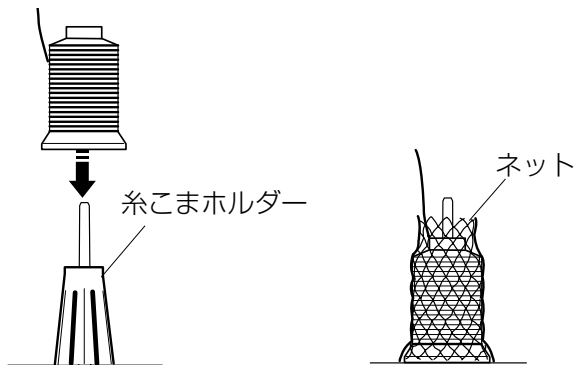
## ★糸こまのセット

### 【こま巻きの場合】



糸の端がうしろ側から左に出るようにして、糸立て棒に糸こまを入れ、糸こま押えで糸こまを押えます。

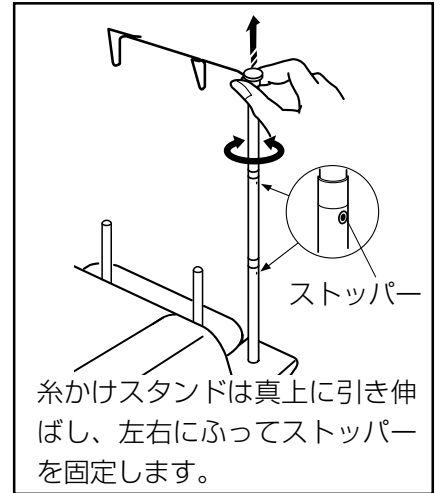
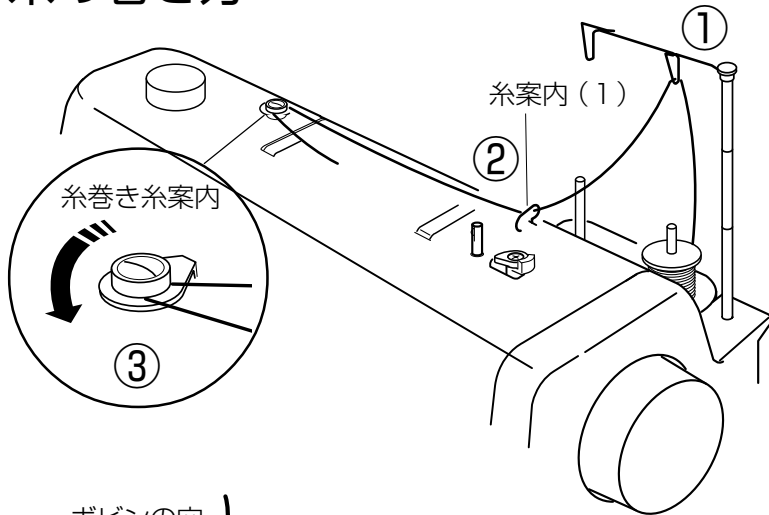
### 【チーズ巻きの場合】



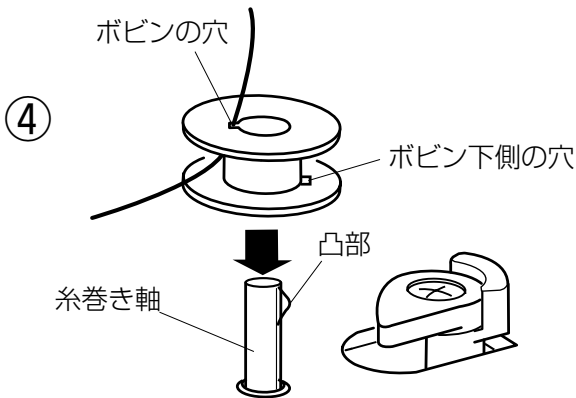
糸立て棒に糸こまホルダーを差し込み、糸こまをセットします。

※糸があばれるときには、付属のネットをご使用ください。

# ★下糸の巻き方



糸かけスタンドは真上に引き伸ばし、左右にふってストッパーを固定します。

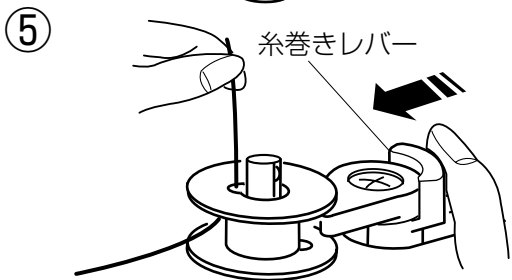


① 糸かけスタンドに糸を通します。

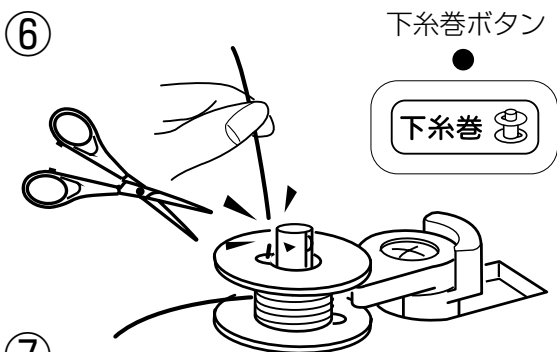
② 糸案内(1)に糸をかけます。

③ 糸巻き糸案内に糸をかけます。

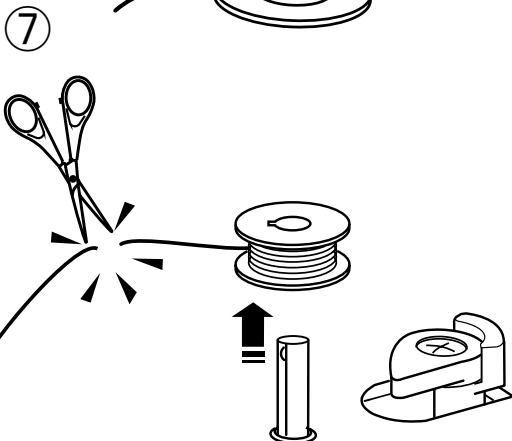
④ ボビンの穴に内側から糸を通し、ボビン下側の穴と糸巻き軸の凸部を合わせ、糸巻き軸に差し込みます。



⑤ 糸巻きレバーをボビンの方に押しつけます。

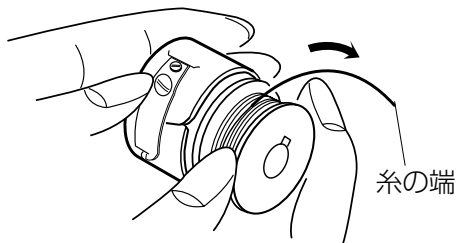


⑥ 糸の端をつまんだまま(図のように上方向にかるくつまんでおきます。)下糸巻ボタンを押します。糸巻きがスタートして糸が3重ほど巻きついたら、下糸巻ボタンを押して止めます。つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

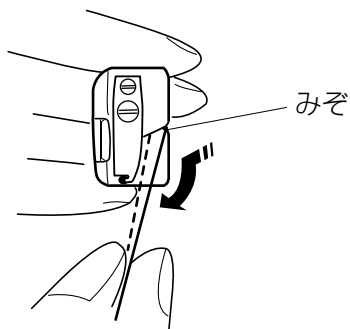


⑦ 下糸巻ボタンを押し、再びスタートします。巻き終わると自動的に止まり、糸巻きレバーがもとの位置にもどります。ボビンを糸巻き軸から外して、糸を切ります。

## ★ボビンのセット

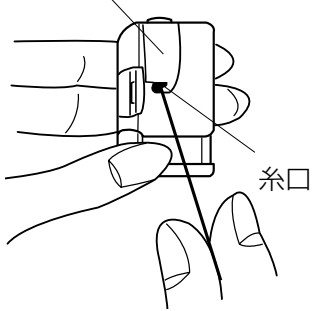


① 糸の端を矢印方向にたらし、ボビンケースに入れます。

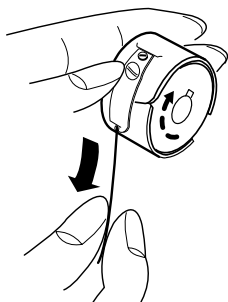


② みぞに通します。

糸調子ばね



糸口



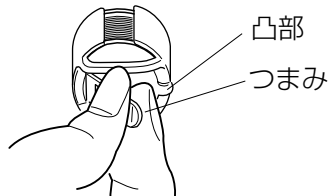
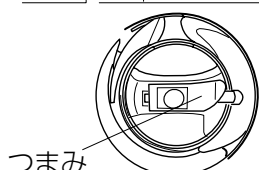
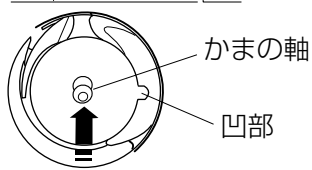
③ 糸を引いて、糸調子ばねの下を通し、糸口に引き出します。

糸は10 cmほど出しておきます。

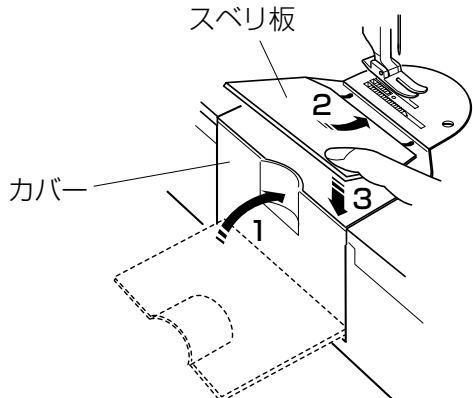
※ 糸を引き出すと、ボビンは時計方向に回転します。

## ★ボビンケースのセット

※針があがっていることを確認してください。



スベリ板



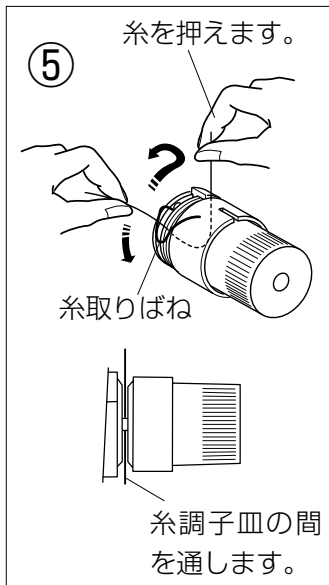
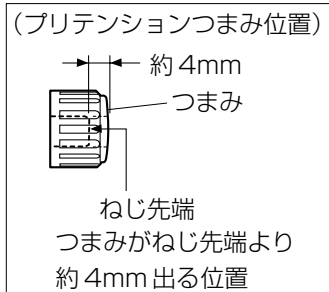
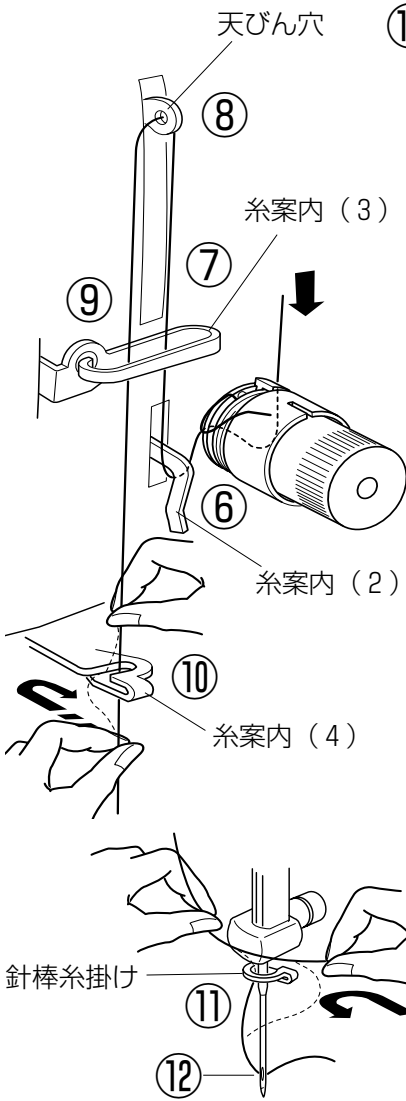
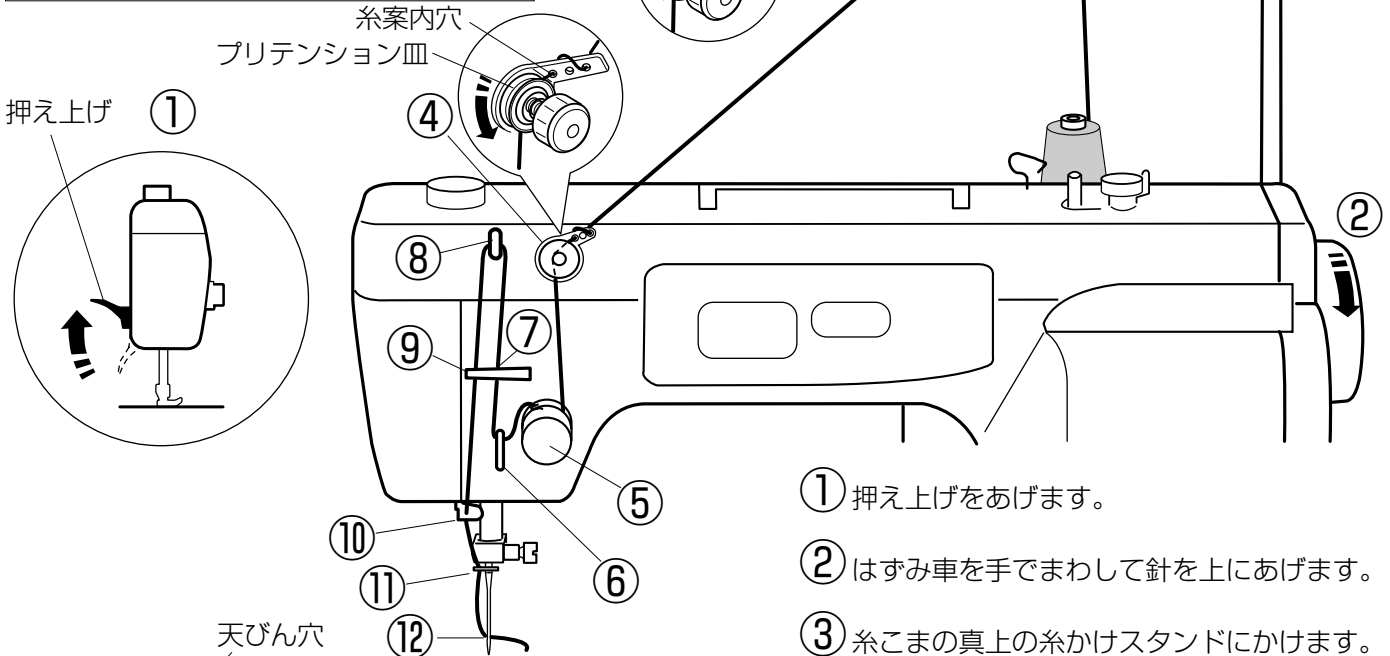
① ボビンケースのつまみを持ち、かまの軸に差し込み、ボビンケースの凸部をかまの凹部に合わせて、ボビンケースを奥まで確実に入れ、つまみをはなします。

② カバーを閉じ、スベリ板を針板に合わせて取り付けます。

# ●上糸の準備

## ★上糸のかけ方

糸は左より糸（ミシン糸）をご使用ください。図の右手を手前によって、糸のよりが固くなれば左よりです。

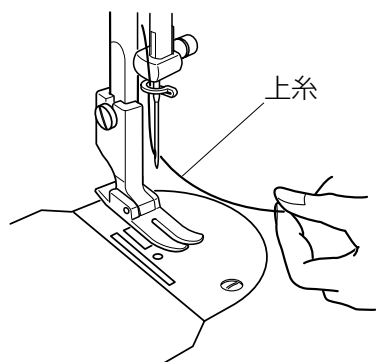


- ① 押え上げをあげます。
- ② はずみ車を手でまわして針を上にあげます。
- ③ 糸こまの真上の糸かけスタンドにかけます。
- ④ 糸案内穴を通してからプリテンション皿の間を通します。  
※ 糸のよりが出たり、外れやすい糸は、図Aのようにかけてください。  
※ プリテンションのつまみ位置は、ねじ先端より約4mm出ているのが標準位置です。
- ⑤ 糸を両手で持ち、糸調子ダイヤルの下をまわし（糸調子皿の間を通します。）左上に引き上げて、糸取りばねにかけます。
- ⑥ 糸案内（2）にかけます。
- ⑦ 糸案内（3）にかけます。
- ⑧ 天びんの穴に通します。
- ⑨ 糸案内（3）にかけます。
- ⑩ 糸を両手で持ち、糸案内（4）にかけます。
- ⑪ 糸を両手で持ち、針棒糸掛けにかけます。
- ⑫ 針には、左から右に通します。

## ★下糸の引きあげ方

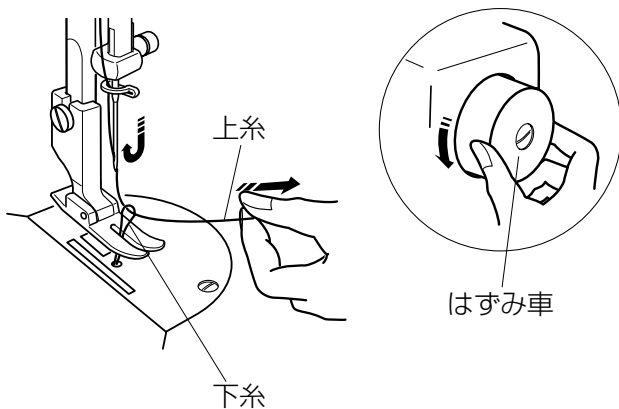
---

①



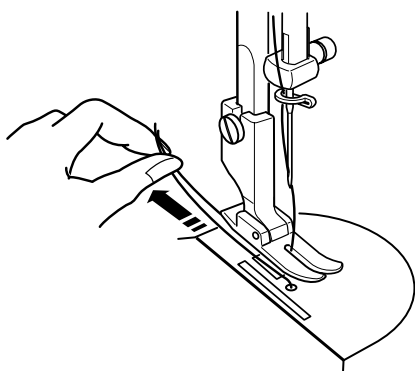
① 上糸を軽く持ちます。

②



② はずみ車を手で手前に1回転させます。  
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③



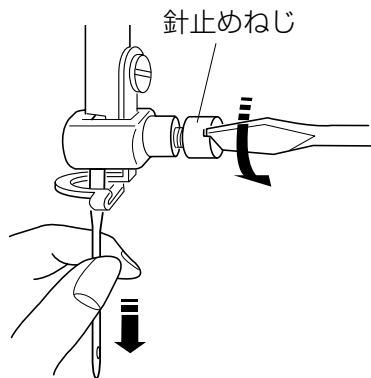
③ 上糸と下糸を押えの下から向こう側に約10cmほど引き出して、そろえておきます。

## ●針の交換

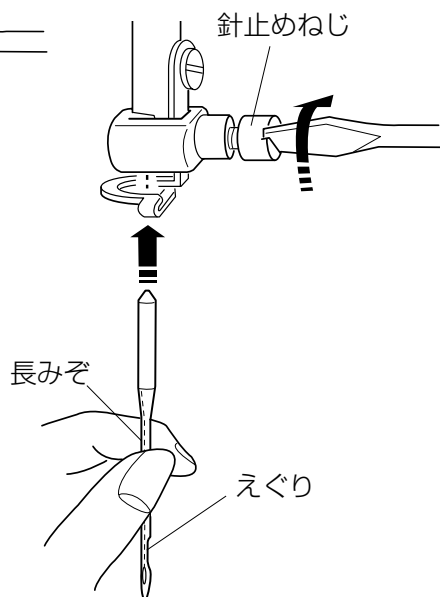
### ⚠ 注意

針の交換のときには、必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。  
けがの原因になります。

① ②



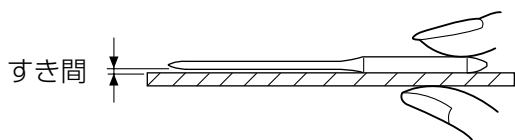
③ ④



- ① 押えをさげて、針をいちばん上にあげます。
- ② 針止めねじを、ねじまわしで左にまわしてゆるめ、針を外します。
- ③ 針の長みぞを左側（針のえぐり部を右側）にして、突き当たる位置までいっぱい差し込みます。
- ④ 針止めねじを右にまわして、しっかりしめます。

※ 針は DB × 1 針を使用してください。

### 【針の調べ方】



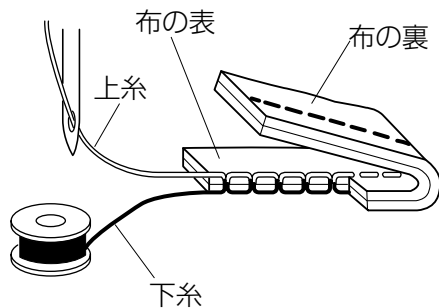
針を平らなもの（針板など）に置いたとき、すき間が針先まで均等に見えるのが良い針です。  
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

## ●布に適した糸や針を選ぶ目安

布地		糸	針 (DB × 1)
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット キュプラ	化繊糸 80～90番	9番～11番
普通の布	ブロード ギンガム ギャバジン うすいジャージ	化繊糸 50番～60番 綿糸 50番～60番	11番～14番
	フラノ、ウール	化繊糸 50番～60番 絹糸 50番	11番～14番
厚い布	デニム	化繊糸 20番～50番 綿糸 20番～50番	14番～18番
	ジャージ	化繊糸 20番～50番	14番～16番
	ツイード	化繊糸 20番～50番 綿・絹糸 30番～50番	14番～16番
	帆布	化繊糸 20番～50番	14番～18番
	人工皮革	化繊糸 20番～30番	14番～18番

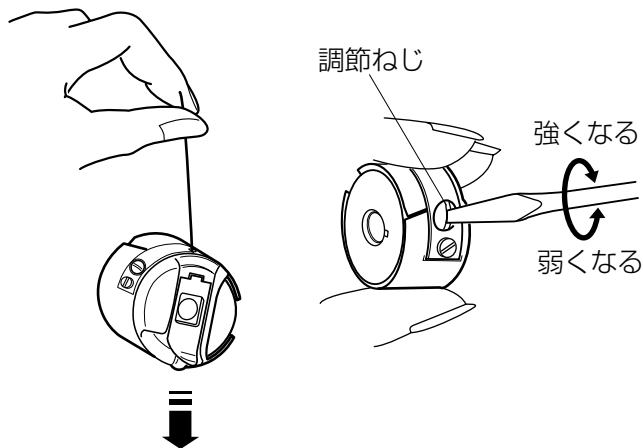
# ●糸調子の合わせ方

## 【バランスのとれた糸調子】



上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。糸調子ダイヤルをまわして調節してください。

## 1 下糸張力の調節

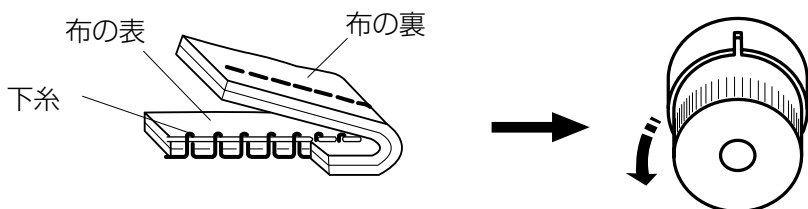


ボビンケースの糸調子は糸（ポリエステル60番）の端をつまんで、軽くふったとき、ゆっくり落ちるのが目安です。

調節ねじを右にまわすと張力は強くなります。調節ねじを左にまわすと張力は弱くなります。

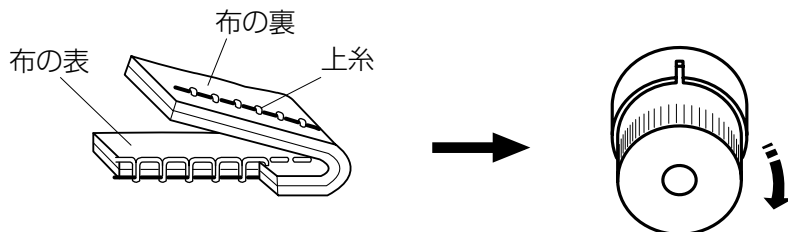
## 2 下糸に合わせて上糸（糸調子ダイヤル）を調節します。

【上糸が強いとき】・・・下糸が布の表に引き出されます。



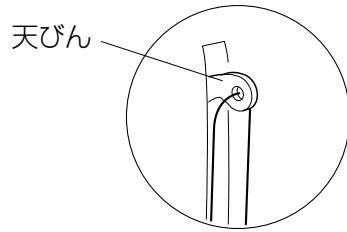
糸調子ダイヤルを左にまわして張力を弱くします。

【上糸が弱いとき】・・・上糸が布の裏に引き出されます。



糸調子ダイヤルを右にまわして張力を強くします。

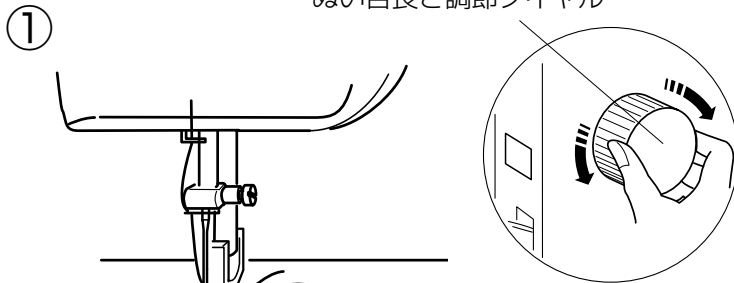
# ● 試しぬい



ぬう前に天びんがいちばん上になっているか確認してください。

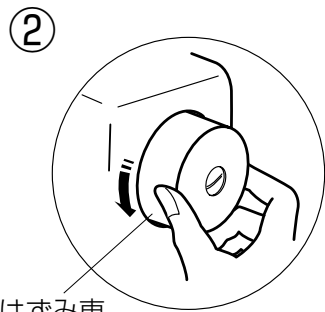
天びんが下にあると、ぬい始めるとき針穴から上糸が抜けることがあります。

ぬい目長さ調節ダイヤル

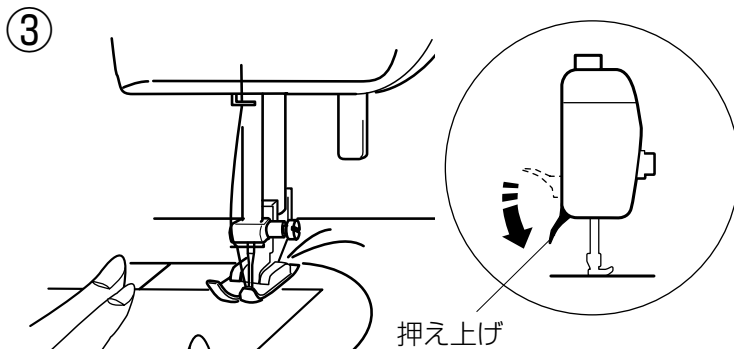


① ぬい目長さ調節ダイヤルをまわして、好みの長さにセットします。

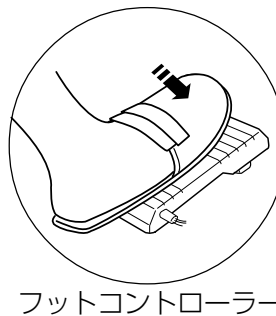
上糸と下糸を押えの下を通し、10cmほど向こう側に引き出し、実際にぬう布のはぎれを押えの下におきます。



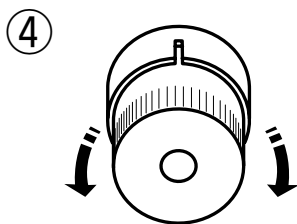
② はずみ車を手前にまわして針を布にさします。



③ 押え上げをさげ、フットコントローラーを踏み、スタートします。



④ ぬい目を確認して、糸調子を調節します。



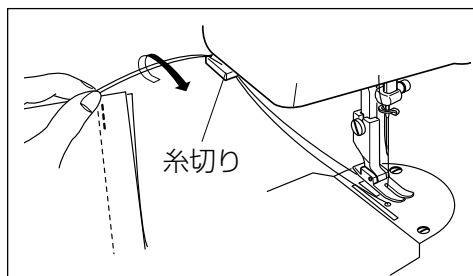
⑤ 糸切りボタンを押して、糸を切ります。

引き続きぬう場合には、下糸を引きあげなくても、そのままぬうことができます。

※ 糸切りをすると、針は上位置になります。



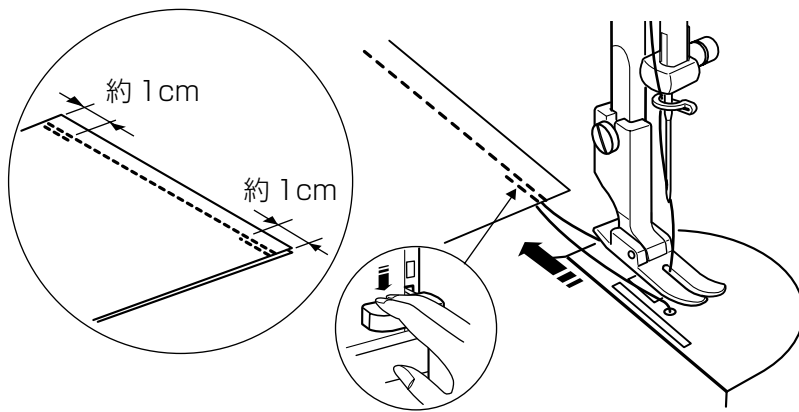
糸切りボタン



(30番以上の太い糸、または特殊糸の糸切り)

押えをあげ、布を引き出し面板に付いている糸切りで糸を切ります。

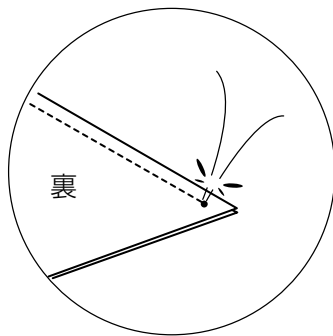




## 【返しぬい】

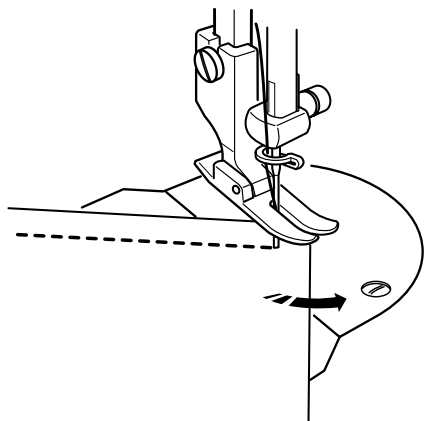
返しぬいレバーを押して、ぬい始めとぬい終わりに約1cm返しぬいをし、ほつれ止めをします。

※厚物の返しぬいは、低速でぬいます。



## 【布地の裏で糸を結ぶとき】

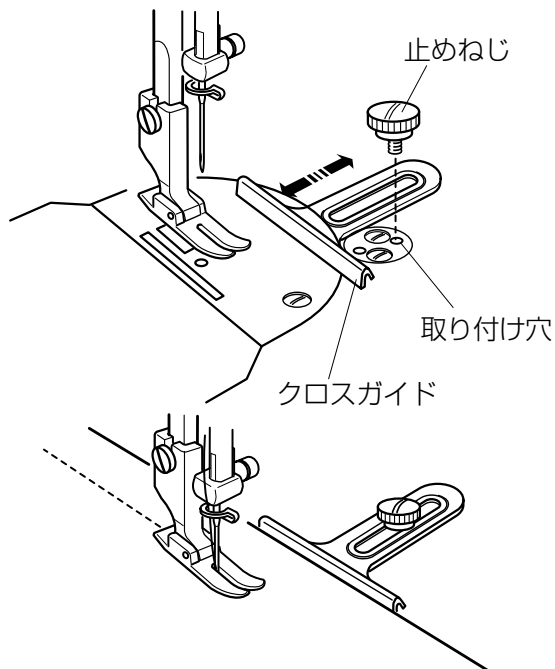
下糸を引いて、上糸を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結びます。結び目のきわをはさみで切ります。



## 【ぬい方向をかえるには】

ミシンを止め、押えをあげます。針を布にさしたまま、ぬい方向をかえて押えをさげます。ミシンをスタートしてぬい始めます。

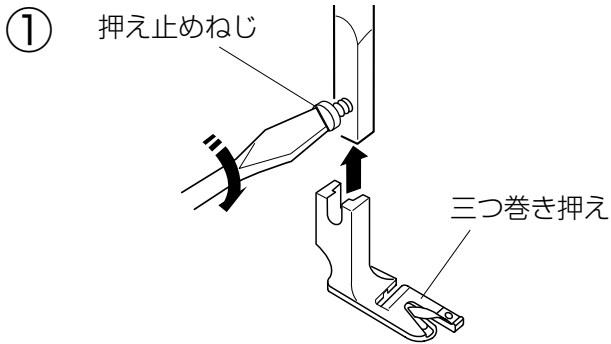
## ●クロスガイドの使い方



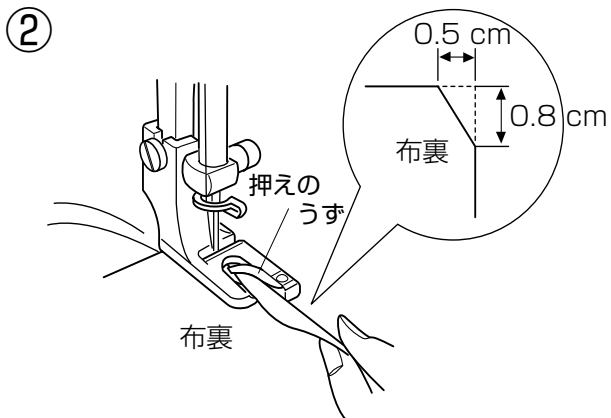
クロスガイドを使うと、布をまっすぐに案内することができます。

- ① クロスガイドを止めねじで、取り付け穴に仮止めします。
- ② クロスガイドを動かし、ガイド位置をきめ、止めねじをしっかりしめます。

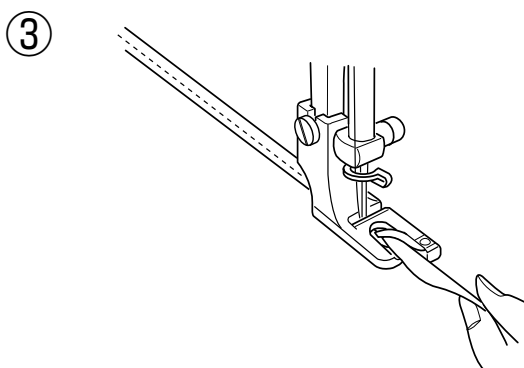
## ●三つ巻きぬい



① 押え止めねじをゆるめて、押えを取りかえます。

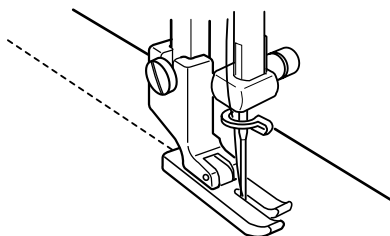


② 布を巻き込みやすくするため角を少し切り、押えのうずの中に布を針にとどくところまで入れて、針をさして押えをさげます。



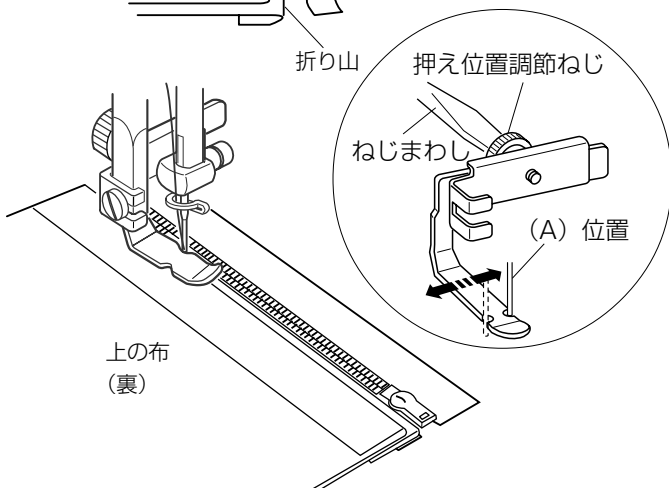
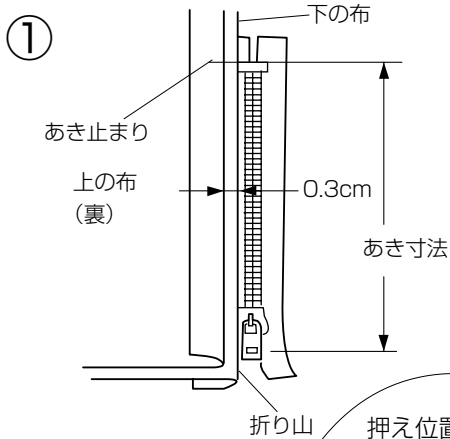
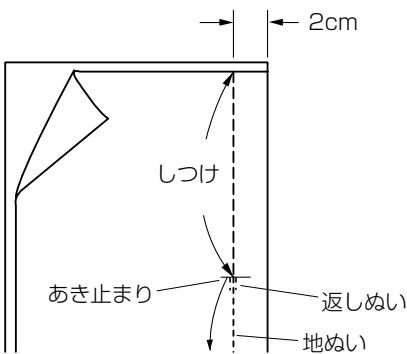
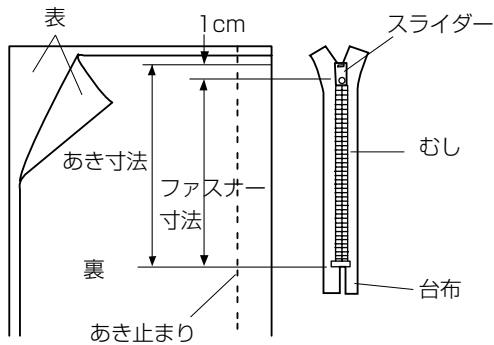
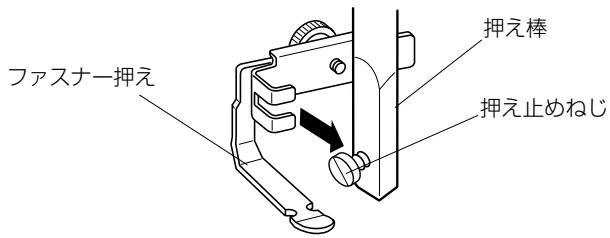
③ 上糸と下糸をそろえて向こう側に糸を引きながら、手ではずみ車を手前に3～4回まわします。正しく巻き込まれたら、親指と人さし指で布をつまみ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ち上げながら巻き込み量を加減してぬっていきます。

## ●レザー押え



滑りの良い特殊素材でできた押えなので滑りの悪い素材、合成皮革などもスムーズにぬうことができます。一般の布地でも使用できます。

# ●ファスナー付け



## 【ファスナー押えの取り付け】

押え止めねじをゆるめて、押え棒の向こう側から取り付けます。

## 【準備】 例：左脇あきのぬい方

(ファスナーのあき寸法を確かめます)

① あき寸法はファスナー寸法に1cm プラスした寸法です。

(地ぬいとしつけをします)

② 布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。

③ あき部分は、しつけ (手ぬい) をします。

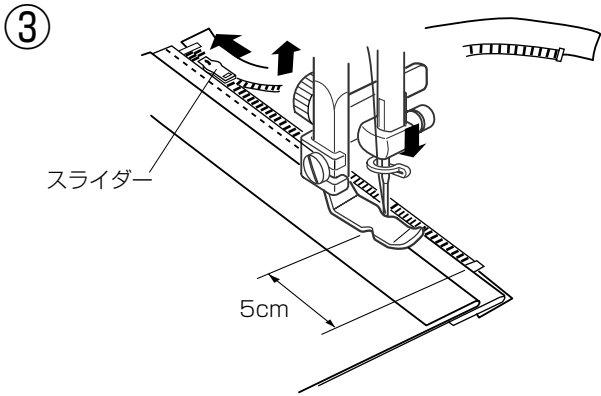
## 【ぬい】

① ぬい代を割り、下の布のぬい代を0.3cm出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

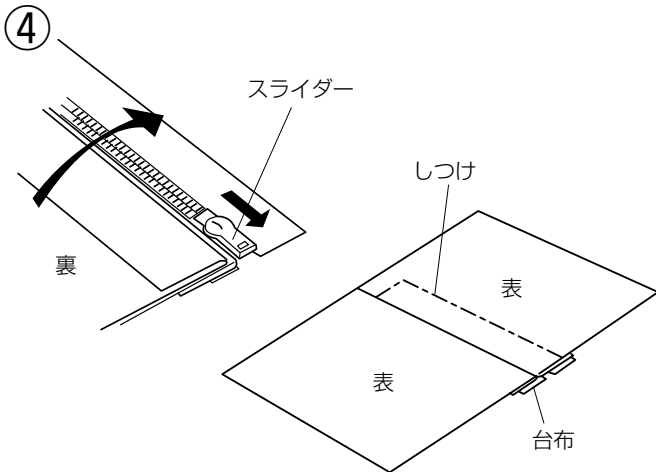
② ファスナーの左側をぬうときは、押し位置調節ねじをゆるめ、押えを左に動かし針位置を(A)位置にし、押し位置調節ねじをねじまわしでしっかりしめて、ぬいます。

ぬい始めは、あき止まりからぬいます。

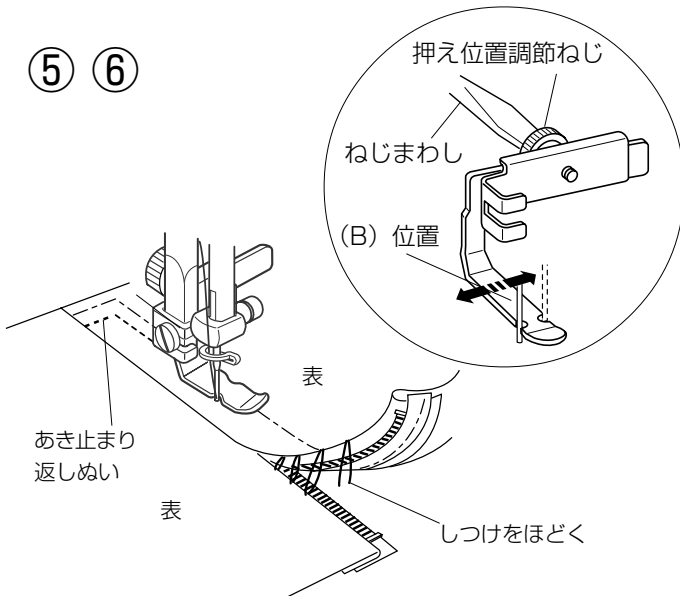
※ ぬい始めのほつれ止めは、数針返しぬいをします。



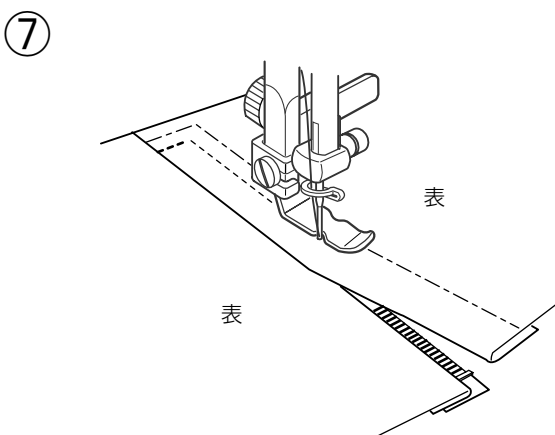
- ③ ファスナーの端から5cm位手前でミシンを止めます。  
 押えをあげてスライダーを押えの向こう側にずらし、押えをさげて残りの部分をぬいます。  
 ※ ぬい終わりのほつれ止めは、数針返しぬいをします。



- ④ ファスナーをとじ、スライダーを上にも倒し、上の布をファスナーの上にかぶせます。  
 かぶせた布と台布をしつけで止めます。



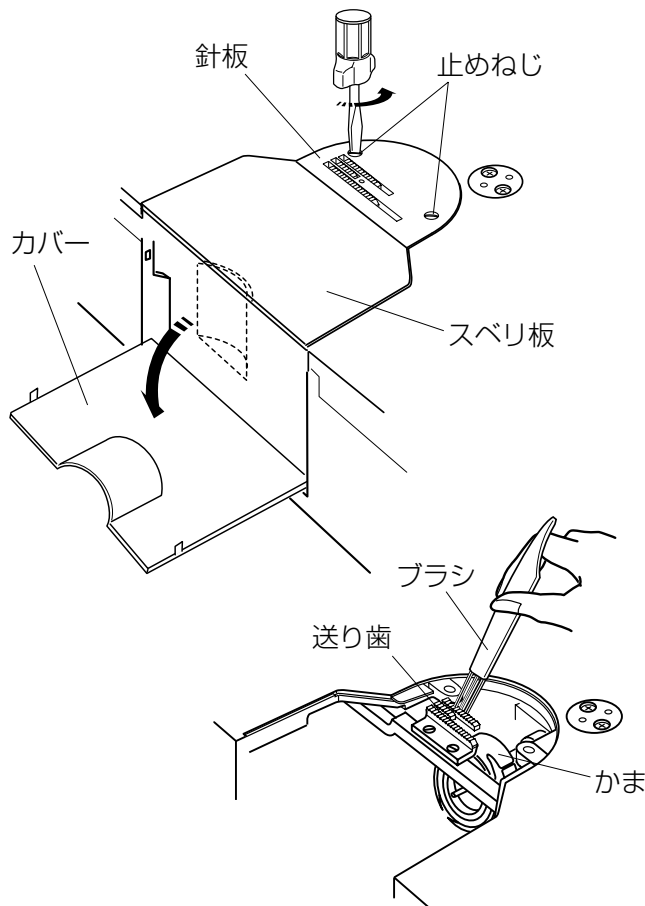
- ⑤ 押え位置調節ねじをゆるめ、押えを右に動かし、針位置を(B)位置にし、押え位置調節ねじをねじまわしでしっかりしめます。上の布のあき止まりを0.7~1cm返しぬいし、むしのきわに押えの端を当ててぬいます。  
 ⑥ ファスナーの上側を5cmくらい残したところで止め、押えをあげて、準備③でぬったしつけ糸をほどきます。



- ⑦ スライダーを押えの向こう側にずらし、押えをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら、ぬい手順④でぬったしつけ糸をほどきます。

## ●ミシンのお手入れ

### ★送り歯とかまの掃除



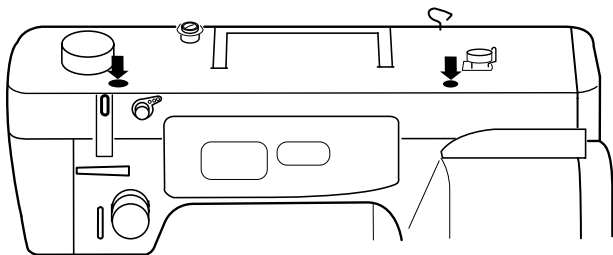
### ⚠ 注意

お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。  
説明されている場所以外は、分解しないでください。  
感電・けがの原因になります。

- ① 押え、針を外します。
- ② スベリ板を外し、カバーを開けます。
- ③ 止めねじ（2ヶ）を外し、針板を取り外します。
- ④ 送り歯とかま周辺の糸くずをブラシで掃除します。
- ⑤ 掃除が終わったら、針板、針、押えを取り付けます。

※ 底にたまった糸くずも取り除いてください。

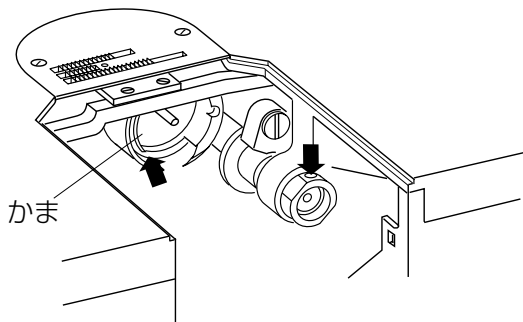
### ★注油



- 矢印の箇所に2～3滴注油してください。
- 必ず付属のミシン油（アイビーオイルMO-70）を使用してください。
- 毎日ご使用のときには、1日1回注油してください。
- 注油後は必ずミシンを回転させ、針板付近、または、注油箇所付近の余分に付着した油を布でふきとってください。

※注油後は必ず試しぬいをしてください。

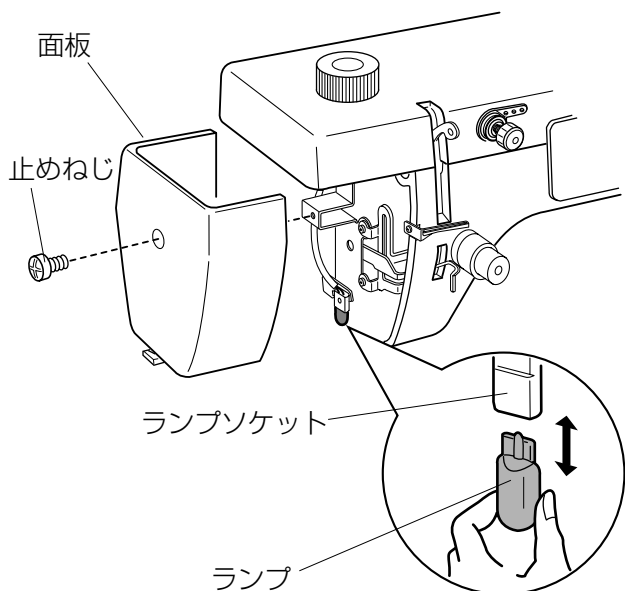
※かま部分の注油は、ボビンケースを取り外して行ってください。



## ★ランプの取りかえ

### ⚠ 注意

ランプを取りかえるときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。  
また、ランプが冷えてから行ってください。  
感電・やけどの原因になります。



### 【面板部ランプ】

#### (取り外し)

- ① 止めねじを外し、面板を取り外します。
- ② ランプソケットからランプを、そっと引き抜きます。

#### (取り付け)

- ③ ランプをランプソケットに差し込みます。
- ④ 止めねじで、面板を取り付けます。

### 【ふところ部ランプ】

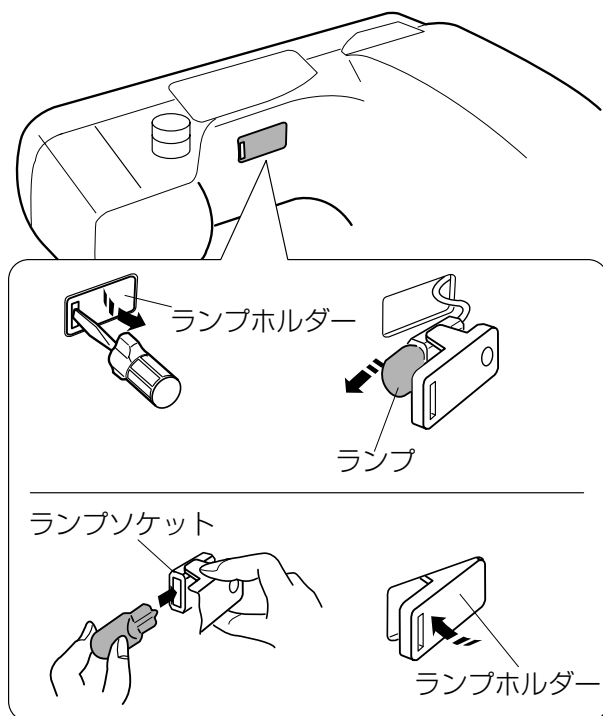
#### (取り外し)

- ① ランプホルダーをドライバー等で外します。
- ② ランプソケットからランプを、そっと引き抜きます。

#### (取り付け)

- ③ ランプをランプソケットに差し込みます。
- ④ ランプホルダーをミシンに取り付けます。

※ランプの購入は、お買い上げ店へお問い合わせください。  
定格の異なるランプは、取り付けないでください。



## ●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	原因	直し方
上糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。</li> <li>2 上糸調子が強すぎる。または、弱すぎる。</li> <li>3 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。</li> <li>4 針の付け方がまちがっている。</li> <li>5 めい始めに、上糸、下糸を押えの下にそろえていない。</li> <li>6 糸がかまなどからまっている。</li> <li>7 針と糸の太さが合わない。</li> </ol>	<p>上糸をかけ方を直します。</p> <p>張力を調節します。 針を取りかえます。 正しく付けかえます。 上糸と下糸をそろえます。</p> <p>かまの掃除をします。 針と糸の太さを合わせます。</p>
下糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボビンケースへのボビンのセットがまちがっている。</li> <li>2 糸がかまからまっている。</li> <li>3 下糸の張力が強すぎる。</li> </ol>	<p>正しくセットします。 糸をかけ直します。 張力を弱くします。</p>
針が折れる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>2 正しい針を使っていない。</li> <li>3 布を手で引張ったり、押ししたりしている。</li> </ol>	<p>針を交換し、正しく付けかえます。 布地、糸に合った、針に交換します。 手を軽くそえてぬいます。</p>
めい目がとぶ。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>2 布に対して、針と糸が合っていない。</li> <li>3 糸のかけ方がまちがっている。</li> </ol>	<p>針を交換し、正しく付けかえます。 針と糸の太さを合わせます。 上糸、下糸のかけ方を直します。</p>
めい目がしわになる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 押え圧が合っていない。</li> <li>2 糸調子が合っていない。</li> <li>3 布に対して、針と糸が合っていない。</li> </ol>	<p>押え圧を調節します。 糸調子を合わせます。 針と糸の太さを合わせます。</p>
音が高い。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 送り歯にごみがたまっている。</li> <li>2 かまに糸くずがたまっている。</li> <li>3 油がきれている。</li> </ol>	<p>送り歯の掃除をします。 かまの掃除をします。 付属の油を注油します。</p>
ミシンがまわらない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 電源スイッチが入っていない。</li> <li>2 フットコントローラーのプラグが抜けている。</li> <li>3 かまに糸がからんでいる。</li> <li>4 モータ内部の故障。</li> </ol>	<p>電源スイッチを入れます。 プラグを差し込みます。 かまの掃除をします。 お買い上げ店へご相談ください。</p>

## 修理サービス要領

### ●修理サービスのご相談

- 1 このミシンのご購入者には、ご購入店から1年の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 2 修理サービスは無料修理保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますのでご相談ください。

### ●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品、および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

### ●無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 1 使用の手びきに基づいて正しい使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
  - イ 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - ロ 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - ハ ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - ニ ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
  - ホ 無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は、修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
- 3 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。
- 4 このミシンは持ち込み修理品ですので、修理の際はご購入店までお持ち込みくださるよう、お願いいたします。

150年以上も家庭用ミシンを作り続けてきたシンガーは、迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭にお届けいたしております。

---

株式会社 シンガーハッピージャパン  
「お客様相談係」

〒110-0016  
東京都台東区台東2丁目9番5号  
電話 03-3837-1865



## お問い合わせまたはご相談先（純正部品の購入方法）

シンガーミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の「お客様相談係」等でも承っておりますので、ご遠慮なくお申し越しください。  
※シンガー純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、下記の「お客様相談係」におたずねください。

### 株式会社 シンガーハッピージャパン 「お客様相談係」

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号  
TEL. 03-3837-1865 FAX. 03-3837-0072

※住所および電話番号は、都合により変更することがありますので、ご了承ください。

仕 様	
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	90W / (ランプ12V 5W) × 2個
外形寸法	幅49.8 cm X奥行21.8 cm X高さ33.8 cm
重 量	14.5 Kg (本体)
使用針	DB × 1
縫 速 度	毎分 1,300 針 (最大)
使用油	アイビーオイル MO-70

**SINGER®**  
シンガーミン

株式会社 シンガーハッピージャパン

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号

TEL. 03-3837-1865 FAX. 03-3837-0072

®はTHE SINGER COMPANYの登録商標です。

767800165